物語文を読んでえらぼう

小6／物語を読んで、人物の心情や理由を1つえらびましょう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

1　寄せ書きを よんで、『かたをふるわせた』ときの先生の様子を1つえらびましょう。

退職する 先生が、クラスの 寄せ書きを 受け取った。一人一人の 言葉を ゆっくり 目で 追い、ある ところで 指を 止めると、口を 結んで かたを ふるわせた。そこには、いたずら好きの 健二の 字で「先生の 字は 読めなかったけど、話は ずっと 聞いてた」と あった。やがて 先生は ふき出し、「健二め、一本 とられたな」と 笑いころげた。

1. 字が読めないと書かれて、はずかしさをこらえていた。
2. ふざけた一行に、少し腹が立つのをこらえていた。
3. こみ上げてくるなみだを、生徒に見せまいとこらえていた。
4. こみ上げてくるおかしさを、なんとかこらえていた。

2　二つのペンケースを よんで、美月が古いほうを使い続けるのはなぜですか。1つえらびましょう。

美月は お年玉で 新しい ペンケースを 買った。ところが 次の 朝、それを かばんの 外ポケットに 入れて みると、ファスナーが しまらない。美月は 小さく ため息を つき、新しい ほうを 机の 引き出しに しまうと、ファスナーの こわれかけた 古い ペンケースを、また ポケットに すべりこませた。

1. 新しいほうは、使うのがもったいなく感じたから。
2. 古いほうが、仲のよい友だちとおそろいだから。
3. 新しいほうは、いつも入れている場所に入らなかったから。
4. 古いほうに、小さいころからの思い出がつまっているから。

3　お弁当を よんで、のりの文字にこめた母の思いを1つえらびましょう。

昨日、玲は 夜おそくまで マンガを 読んで いた。今日の 昼、学校で 母の 作った 弁当の ふたを 開けると、ごはんの 上に のりで「がんばれ」では なく、「ねるな」と 書いて あった。午後は 苦手な 歴史の 授業だ。玲は あわてて ふたで 文字を かくし、あたりを 見回した。

1. 夜ふかしした玲が、午後にいねむりしないよう注意したい。
2. 夜おそくまで勉強していた玲を、ゆっくり休ませてあげたい。
3. 夜ふかしした玲でも、元気に一日を乗り切れるよう、はげましたい。
4. 夜ふかしした玲に、ごはんをしっかり食べて力をつけてほしい。

物語文を読んでえらぼう【こたえ】

小6／物語を読んで、人物の心情や理由を1つえらびましょう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

答えと、たしかめるところ

1　答え：4

口を結んでかたをふるわせたあと、『やがて先生はふき出し』、『一本とられたな』と笑いころげました。こらえていたのは笑いです。なみだやはずかしさ、いかりは書かれていません。

2　答え：3

新しいほうを外ポケットに入れると『ファスナーがしまらない』。ため息をついて、古いほうをまたポケットに入れました。思い出・もったいなさ・おそろいは書かれていません。

3　答え：1

前の夜、玲は『夜おそくまでマンガを読んでいた』。のりの文字は『「がんばれ」ではなく、「ねるな」』。いねむりしないように、という注意です。勉強していたのではありません。

読み取るコツ

直接書かれていない心情は、行動・様子・せりふ（だまる・にやりとする・横顔）から読み取ります。